

わたしの人カード（4枚つくる）

（ ）組 なまえ_____

領域・形態・時間	話すこと〔発表〕の下ごしらえ 1人4枚 第2時15分+第3時10分
ねらい	紹介したい人を4人ぶんカードにしておく。クイズ（活動1）も第8時のテストも、この4枚から1枚えらべば始められる。

やり方 この流れでやってみよう

- 1

Choose four people. Anyone!

紹介したい人を4人えらぶ（家族・先生・友だち・コーチ…だれでもOK）
- 2

He? She? Circle one.

その人は He? She? どちらかに○をつける
- 3

Draw one thing: He/She can

その人ができることを1つ、絵でかく（英語は言えればOK）
- 4

One nice thing, on the back.

うらに「その人のすてきなところ」を日本語で1つメモ
- 5

Show and say: This is my

となりの人に1枚見せて This is my と言ってみる

人カード 点線で切って4枚。だれでもOK（家族・先生・友だち・コーチ…）

だれ？（日本語でOK） / He ・ She に○ _____ できること（絵でOK）	だれ？（日本語でOK） / He ・ She に○ _____ できること（絵でOK）
だれ？（日本語でOK） / He ・ She に○ _____ できること（絵でOK）	だれ？（日本語でOK） / He ・ She に○ _____ できること（絵でOK）

うらメモ その人の「すてきなところ」を1つずつ

まい	だれ	すてきなところ（日本語でOK）
1		
2		
3		
4		

ルール

①名前は日本語でOK（英語のつづりは求めない） ②4人ぜんぶちがう人にする ③わるいところは書かない
——「すてきなところ」だけ

☆レベルアップ！ できることを英語でも書けたら「カード名人」。4枚のうち1枚を班の人に見せずにとっておくと、第5時のクイズづくりがそのまま始められる。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・第2時は「だれ」と He/She まで、第3時に「できること」の絵まで。2回に分けると1回の負担が5～10分で済む
- ・写真は要らない設計。持ってこられる子とそうでない子の差が紙の上に出ないように、絵と名前だけで完結させてある
- ・He/She に○をつける欄がこの紙のいちばんの仕事。ここで手が止まった子を控えておくと、第3・4時の中間指導で拾える
- ・第5時のクイズ（活動1）と第8時のテストは、この4枚から1枚えらぶだけで始まる。同じものを二度作らせない